

# 核兵器の廃絶と戦争のない平和な世界をめざして 「2013ピースアクションinTOKYO」 &「ピースパレード」 ～っないでっないで 東京から平和を～

「核兵器廃絶と戦争のない平和な世界をめざして」、今年も東京から世界へ向けて平和への思いと核兵器廃絶を訴えピースアクションinTOKYOを開催しました

あいにくと小雨の一日となり、残念ながらピースパレードは中止となりましたが、会場はほぼ満席で、お子さん連れの若い方たちも含めて幅広い年齢層が集い、それぞれの平和への思いを共有した半日となりました。

東都生協理事の大出さんの司会で進行、ピースコンサートで幕開けしました。

開催日時：5月20日（月）10：00～12：00

開催場所：東京ウィメンズプラザ

参加人数：6生協、2団体 235名

主催：一般社団法人東友会（東京都原爆被害者団体協議会）

特定非営利活動法人東京都地域婦人団体連盟

東京都生協連平和活動担当者連絡会

協賛：日本生協連



司会  
東都生協理事  
大出友記子さん

## ピースコンサート



ピースコンサートは山下孝之さんによるケーナの演奏でした。山下さんは手作りのケーナでオリジナル曲を含めて3曲を披露。優しく伸びやかなケーナの調べが会場内に広がり、雄大な自然の中に身をおいたようなすがすがしさと癒しに包まれました。山下さん自身の戦争や平和に対する思いも語られて、参加者と思いをともにできたケーナの響きはいっそう心に染みわたりました。



## 主催者挨拶



東京都生協連理事  
東都生協副理事長  
中村紀子さん

平和なくして生協なし、の合言葉で活動を続けてきた。平和でなければ暮らしも命も成り立たない。戦争が暮らしをつぶしてしまうことのないように、生協が果たしてきた役割も考え協同の力を発揮していきたい。

現在の世界の情勢や国内での諸問題の中、どう声をあげていけばいいのか。一人ひとりが人権を守るという考えを持つことが大切。嫌だ！と言えること、好き！と言うこと。多様性を認められることが平和につながっていく。

改憲の動きもひたひたと出ている中、被爆者の方たちの思いを伝えていけるように平和活動を続けていきたい。素晴らしい平和憲法がある日本を誇りに思っている。戦争は嫌だ！という声をあげ続けていきたい。

## 語り継ぐ「母と子」



今年の「語り継ぐ」は「母と子」をテーマに広島原爆を受けた3人の女性の証言朗読と東京大空襲を受けた1人の体験証言で構成しました。

広島に原爆が落ちたあの日、母として、子どもとして何を見、何を体験したのか。極限状態の中で子を思い、あるいは自身が母となってあの時の母の気持ちを思い、また、他人まで思いやれなかったことを悔いて。すでに亡くなられた3人の方の、それぞれのあの日からの人生に皆、聴き入りました。

ご自身で証言された中野三千代さんは空襲に怯えながらの戦中の日々と教育の大切さを、お父様の思い出とともに語られました。

証言の朗読は東京南部生協の関根明美さん、コープみらいの中村久美子さん、東都生協の岩井とう子さん、ナレーションはパルシステム東京の小山志保子さんが担当しました。



中野さん



小山さん



岩井さん



関根さん



中村さん

## 広島市長・長崎市長からのメッセージ

松井一寛広島市長、田上富久長崎市長からのメッセージが、広島市東京事務所の滝川卓男さん、長崎市東京事務所の神近宣博さんより伝えられました。広島市で今夏開催される「平和市長会議の総会」や長崎市で開催される「核兵器廃絶地球市民集会ナガサキ」などの会議や集会を通して世界の国々と核廃絶の思いを共有し発信していく決意と、ピースアクションへの期待が表明されました。



広島市長、長崎市長のメッセージを代読する滝川さん（左）と神近さん



## 参加団体リレートーク



パルシステム東京  
岩崎陽子さん



東京南部生協  
新井清子さん



東友会  
家島昌志さん



大学生協  
長谷川結香さん



東京地婦連  
山下陽枝さん

参加7団体がそれぞれの団体紹介、平和活動報告や企画の案内、今後の取り組みなどを発表しました。どの団体も平和だからこそ活動できる、そして戦争のない世界を求めてさらに活動を続けたいという決意を語りました。

今年も大学生協が参加し、平和のために何ができるか考えていること、全国の大学で平和活動やボランティア活動をしていることを話して、語り伝える責任があると言ってくれたことに期待を強くしました。



コープみらい  
森智枝さん



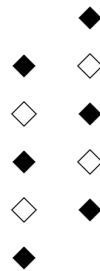
東都生協  
鮫島ふみさん

## 核兵器廃絶に向けたアピール



東友会  
仲伏幸子さん

集会アピールを東友会仲伏幸子さんが朗読し、拍手で採択されました。核兵器が2度と使われることのないよう、私たちが被爆国として伝える責任を持って行動し、草の根の活動が核のない未来を作ること信じて活動し続けることを決意表明しました。



リレートークでの発表はありませんが、参加団体の全労済東京都本部から、毎年パレードで配る花の種の寄付があります。今年はパレードが中止となりましたが、参加者には、平和の花を咲かせてくださいとお願いし配付しました。



## 閉会挨拶



それぞれのテーマの中で戦争のこわさ、平和への思いを訴えてくれた。平和な世界願うことは生きる機軸である。この会をきっかけに平和の大切さを伝えてほしい。

東京地婦連・大北恭子さん